第十三講　「なり」の識別／「めり・らし」／推量・推定の助動詞のまとめ

「なり」の識別

【識別対象】

１「　　」・存在の助動詞「なり」
２「　　・　　」の助動詞「なり」
３「　　」の「なる」
４「　　」ナリ活用の活用語尾

★**〈見分け方〉**＝「　　　」

１「　　」か「　　形」＋なり＝**断定・存在の助動詞「なり」**

（例）
今宵は十五夜**なり**けり。
成就する**なり**。
西の京のそこそこ**なる**家に…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２

「　　形」（ラ変型＝「　　形」）＋なり＝**伝聞・推定の助動詞**「なり」

（例）もの思ひにあくがる**なる**魂は、…

※撥音便に付く「なり」

（　　）**なり**＝**伝聞・推定**

（例）いとよきことにこそあ**なれ**。

絶えざ**なれ**ば…

※四段活用音声動詞に付く「なり」

（例）世をうぢ山と人はいふ**なり**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３

「　　」と訳せる＝ラ行四段活用**動詞**「なる」

「　　」「　　」「　　」「　　」「　　」に付くことが多い。

〜

なり＝**動詞**「なる」

(例)

九月(ながつき)ばかりに**なり**て、…

河内へも行かず**なり**にけり。

うとましう**なり**ぬ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4　「　　・　　」＋なり＝**形容動詞**ナリ活用の活用語尾

「　　」「　　」「　　」に付くことが多い。

「　　　＝　　　」
～　　　なり

＝形容動詞

あはれなり

貴なり（あて）

優なり（いう）

つれづれなり

様子

※～**かなり**→**伝聞・推定**

（例）読むべか**なり**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）

みやびやか**なる**を、あはれと思ひたまふ。

御心のうち、苦しげ**なり**。

この児のかたち、けうら**なる**こと世になく、…

定めたまふまじか**なる**を…

問一　次の傍線「なり」を文法的に分類した組み合わせとして、最も適当なものを後の中から選べ。

はかなく①なりし人の領ずる所にて、…

ある聖の物に②なりてと聞きしを、…

さまざま思ひ出づることなど、言ふもなかなか③なり。

露消えし跡は野原と④なりはててありしにも似ず荒れはててにけり

ア　①と②③④　　イ　①②と③④

ウ　①②③と④　　エ　①②④と③

オ　①③④と②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　次の傍線部の中から品詞の異なるものを一つ選べ。

ア　孝養の心なき者なり。

イ　その人の心になりて思へば、…

ウ　世をば行なはまほしきなり。

エ　不便のわざなり。

問三　次の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

須磨に なり(a)ぬ。
家どもの、物はかなげ なる(b)に、柴垣うちしつつ、…
慌しく急ぎ過ぐる なる(c)べし。

ア　ラ行四段動詞

イ　形容動詞語尾

ウ　断定の助動詞

エ　伝聞の助動詞

a＝　　　　b＝　　　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　次の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「事悪しく[a]なりなんかし」と思ふに、…
命も延びぬべき様し給へる人[b]なり。
聞き入れさせ給はざん[c]なりと承るを、…

ア　ラ行四段動詞　　イ　形容動詞語尾
ウ　断定の助動詞　　エ　伝聞の助動詞

a＝　　b＝　　c＝

問五　次の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

髪長くをかしげ[a]なれば、…
蔵人（くらうど）の少将の御方[b]なる小帯刀（こたちはき）とて、いとされたる者…
＊わかうどほり腹な[c]なりかし。

＊わかうどほり腹…皇族の女性から生まれてきたことをいう。

ア　動詞「成る」　　イ　形容動詞の活用語尾
ウ　断定の助動詞「なり」　　エ　伝聞推定の助動詞「なり」

a＝　　b＝　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★補足事項

〜あ・か・ざ・た・な（ん）なり

〜ざんなり

〜ななり

> ※「**ななり**」「**なめり**」＝「　　」
>
> （訳）「　　　　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「仏、あはれとおぼしめしたりける ａなめり」とぞ人言ふ ｂなる。

ア　当然　　イ　伝聞　　ウ　完了　　エ　回想
オ　詠嘆　　カ　断定　　キ　婉曲　　ク　反実仮想

ａ＝　　　　ｂ＝

問七　次の傍線部ａ・ｂと文法的に最も近いものを、後の中からそれぞれ選べ。

この里にすみふりし飛騨人(ぴと)（＝大工） ａなり。
やや寒う ｂなりはべるには、…

ア　かたはらいたければ書かぬなり。
イ　「静まりぬなり。入りて、さらば、たばかれ」とのたまふ。
ウ　長押(なげし)の下(しも)に人々臥して答(いら)へすなり。
エ　「出でずなりぬ」と聞こえたまへば、慰みて起きたまへり。
オ　をかしき節もなくのみぞあなりし。

ａ＝　　　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　「みな人は花の衣に なりぬ[a] なり[b]。」の傍線部「なり」の文法的説明をそれぞれせよ。

a＝

b＝

問九　「かしこにはしはべるなるに、…」の傍線部と文法的に同じ意味の「なる」「なり」を含む和歌を、次の中から一つ選べ。

ア　厚氷くだきし跡の見ゆるなり山下清水くむ人やたれ

イ　世の中のあはれなるには大空の雲も涙を惜しまざりけり

ウ　嘆けとて月やはものを思はするかこち顔なる我が涙かな

エ　世にふれば又もこえけり鈴鹿山昔の今になるにやあるらん

オ　あしびきの片山きぎすうちはぶき妻ごひすなり春のあけぼの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十　次の傍線「なり」と文法的意味・用法が同じものを、後の中から一つ選べ。

船人の見るに、海のなかに浮きて漂ふ者あり。これを引き上げて見れば、縛られたる僧なり。船人、大きにあやしみて、「何人ぞ、かくは縛られたるは」と問へば、「われはしかじかの者なり。盗人にあひて縛られて落とし入れられたるなり」と答ふ。

（一部省略）

ア　太政大臣になりたまふ
イ　容体ほそやかにあてなりければ
ウ　おのづから宿世宿世に人となりたちぬれば
エ　侍従の大納言の御女、なくなりたまひぬなり
オ　またなくあはれなるものは、かかる所の秋なりけり

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

めり・らし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	めり	○					○	型
	らし	○	○				○	型

【「めり」の意味】

①（「　　」判断による）**推定（～ようだ）**

※語源＝「　　」＋あり

（例）人待つな**めり**と見るに、…

② **婉曲（～ような）**

（例）人ごとに言ふ**めれ**ど、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【「らし」の意味】

①　推定（～らしい）

（例）深山(みやま)には霰(あられ)降る**らし**外山(とやま)なるまさきのかづら色づきにけり

問十一　「言ふめれば、…」の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　完了　　イ　推定　　ウ　断定　　エ　伝聞　　オ　尊敬

問十二　「さなめり」を現代語訳せよ。

問十三　「あやしきさまにぞ言ふべか［X］。」の空欄Xに入る語として、最適なものを次の中から選べ。

ア　り　　イ　れ　　ウ　めり　　エ　める

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈推量・推定の助動詞のまとめ〉

けむ〔　　〕
↓
らむ〔　　〕
↓
む〔　　〕（むず）　じ

べし　まじ

推定
なり〔　　〕
めり〔　　〕
らし（和歌中）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十三講

①　次の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを後の中から選べ。

身の上になり(a)ぬれば、…
姉なる(b)人の…
遥かなる(c)道を妻子を引き具して、…
呼ばすれど、答へざなり(d)。

ア　断定　イ　伝聞　ウ　動詞　エ　形容詞の活用語尾　オ　形容動詞の活用語尾

a＝　b＝　c＝　d＝

②　「思ひをなすべきなめり」の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　断定　イ　完了　ウ　推量　エ　打消　オ　強意

③　「中将などはすきぬべかるめり」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　適当　イ　伝聞　ウ　完了　エ　反実仮想　オ　推定　カ　打消

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　模範解答

問一　エ
問二　イ
問三　a　ア　b　イ　c　ウ
問四　a　ア　b　ウ　c　エ
問五　a　イ　b　ウ　c　エ
問六　a　カ　b　イ
問七　a　ア　b　エ
問八　a　ラ行四段活用動詞「なる」の連用形
　　　b　伝聞推定の助動詞「なり」の終止形
問九　オ
問十　オ
問十一　イ
問十二　そうであるようだ
問十三　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十三講　模範解答・解説

〔解説〕

① a　上が「〜に」で「なる」と訳せるので動詞「なる」の連用形。よって、ウが正解。

b　上が「姉」＝体言。よって、断定のアが正解。

c　上が「〜か」で「遥か」＝様子・状態。よって、形容動詞「遥かなり」の連体形の活用語尾。オが正解。

d　「〜ざなり」の「なり」は伝聞推定の助動詞。よって、イが正解。

②　「なめり」の「な」は断定（連体形「なる」の撥音便無表記）。よって、アが正解。

③　「めり」は推定・婉曲の助動詞。選択肢には婉曲がないので、オの推定が正解。

〔解答〕

①　a　ウ　b　ア　c　オ　d　イ

②　ア

③　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。